

## 南部みどり幼稚園

### 平成31年度学校自己評価結果報告書

#### 1. 本園の教育目標

本園の身近にある豊かな自然環境を通して、たくさんの「ふれあい」「出会い」を大切にし、物を大切にすること・やさしくすること・夢中になること・感動することそして愛することのできる子どもの育成を目指し、ひとりひとりを大切に自主性を尊重し、やる気を育てる幼児教育を目標とする。

1. 健康なからだと健康なところを支える体力を持った子ども
2. 自分の力で最後まで考えたり創造したりする子ども
3. 友達と仲よく元気にあそべる子ども
4. 心豊かなやさしさと愛のある子ども
5. ことばを愛し、豊かな表現活動のできる子ども

#### 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年度も教育目標を継続して達成すべく、その充実に努める。特に、感謝の気持ちを持つよう、日々の保育の中でお礼を言うこと、伝えることの大切さや、支えてくれている人がいることに気づけるような言葉掛けを心掛ける。

#### 3. 評価項目の達成及び改善点

評価分類	評価結果	改善点
保育の計画性	A～B	・概ね、話し合い共通理解の元、活動・保育に繋がっていると思うが、更に話し合う時間、内容を深めていくことを心掛け、既成概念に捉われずその時必要なことを積極的に取り入れていく事、子どもの成長につながる事を優先的に取り入れていく事を疎心掛けたい。 ・反省点をより有効に生かしていけるよう、カリキュラムの話し合いの場等で考えを共有し、次の計画に生か

		<p>していけるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に制限が出来てしまい子どもたちが遊び込める程ではないのが現状。その点の工夫が必要。</li> <li>・計画を立てて終わりにするのではなく、進めながら計画を練り直すこともしていく。子供たちの日々の成長の実態に合わせた計画を立てる。</li> </ul>
保育の在り方・幼児への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この点についてはかなり達成されている稚思う。園児数が少ないこともあり全員の子どもを全員の保護者で見るといいう姿勢を常に持ち続け、一人一人の心にしっかり寄り添い適切な対応が取れるようこれからも心掛けたい。</li> <li>・今後も子ども一人ひとりの特性を理解し、特性に合わせた援助、関わりを行っていきけるよう努めていく。一人で悩まず、他の職員からのアドバイスを求め、関わりに生かしていくようにする。</li> <li>・一日の内に必ず全員(担当クラス)と1体1で接する時間を少しでも持つようにする。</li> <li>・普段から職員間のコミュニケーションをとることで、園児の情報が共通理解できていると思う。</li> </ul>
教師としての資質の能力・良識・適正	A～B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分としてはかなり意識して達成できよう努力していると思う。先生である前に一人の人間としてどう行動すべきか常に問いかけながら職にあたるのがとても大切であると強く感じる。</li> <li>・相手に分かりやすく伝えるため自身が理解したうえで、話す内容や要</li> </ul>

		<p>点をしっかり整理し、話せるよう努めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の出来事には常にアンテナを張って子どもたちに伝えること、対応しなければならないことなど日頃から情報収集捨ておく。</li> <li>・行事が続くと余裕がなくなってしまう点。</li> </ul>
保護者への対応	A～B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分達成出来ていると思うが、更に一歩進め、子どもたちの成長のために深い話し合いができるよう心掛けたい。</li> <li>・文章での伝達では、相手に伝わりやすい表記の仕方を心掛けていく。家庭から求められることは多様化してきているので、各家庭の状況も理解したうえで、職員での共通理解のもと適切に対応が出来るようにする。</li> <li>・保育参観は参観のための保育ではなく、日常の子どもたちの自然な様子を見ていただけるようにする。</li> <li>・送迎などの際に、ちょっとした情報交換をすることで安心できると思うので、なるべく話せるようにしたい。</li> </ul>
地域や自然や社会とのかかわり	A～B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園児が園を訪れて近況を報告してくれたり、なつかしいと話してくれたりする時、心の基になってくれることをうれしく思う。更に深めていけるよう努力したい。</li> <li>・地域との交流を深めながら、よりみんなが来園しやすい雰囲気作りに努める。行事の情報等地域へ発信していく。</li> <li>・周りのたくさんの方の自然を保育に生</li> </ul>

		<p>かし切れていないので、もっと保育の中で取り入れられるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園児が卒業・入学の際に顔を見せてくれることはとても喜ばしい。保護者にも感謝したい。</li> </ul>
<p>研修と研究</p>	<p>A～B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る限り達成できるように努力しているが、更に深めていけるよう心掛けたい。</li> <li>・研究会で得たことを職員間で共有し、保育の向上につなげていけるようにする。</li> <li>・今まで続けてきたことも大切にしながら、新しい保育も自分から進んで情報など取り入れられるようにしたい。</li> <li>・定期的に時間を設けることもいいが、その都度情報交換出来ている。</li> </ul>

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

総合的な評価は「A～B」であることを確認した。

教職員一人一人が、自己点検・自己評価を自覚し、目標の達成に努力したが、さらに本園の教育目標を確固たるものにするため、各々が日常的に自己評価を行い、資質向上に努めることを共通の理解とした。

#### 5. 今後の取り組むべき課題

今後取り組むべき課題として、令和2年度は次を重点課題とする。

平成31年度に引き続き、次の2点を継続課題とする。

##### 「保育の計画性」

日々の保育の計画は、子どもの様子をしっかりと捉え、年間計画・月案と照らし合わせながら立てていく必要があり、他学年との連携も大切にしながら、計画をしていきたい。

##### 「保育の在り方、幼児への対応」

子どもたち一人ひとりの育ちを考え、どのような援助・言葉掛けが良いか、他の職員とも相談しながら対応するようにし、危険予測や、子どもが起こすかもしれない次の行動を、もう少

し考えられるようにしたい。

#### 6. 財務状況

子ども子育て支援新制度に移行し3年目になるが、財務状況については大分改善されて来ている。監査法人の監査においても適正に運営されていると認められている。